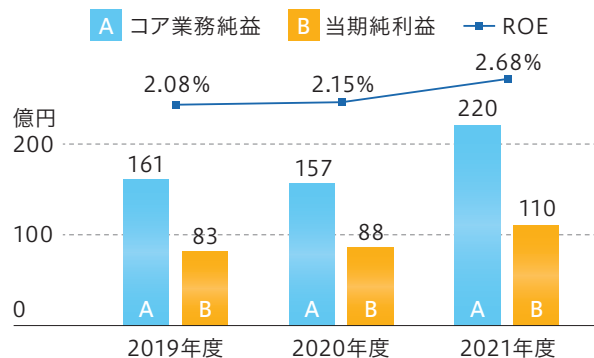


## 業績ハイライト (単体) 2022年3月期



### 経常利益

178億円

前年比  
+37億円

### 資金量期末残高

106,813億円

前年比  
+6,906億円

### 貸出金平均残高

74,809億円

前年比  
+3,494億円

### 自己資本比率

12.17%

前年比  
+0.10%

### 金融再生法開示債権

786億円

前年比  
+63億円

※詳しい内容については、当行ホームページに掲載の決算短信をご覧ください。

## 当行の概要

名称 株式会社 北洋銀行  
 設立年月日 1917(大正6)年8月20日  
 本店所在地 札幌市中央区大通西3丁目7番地  
 資本金 1,211億円  
 店舗数 171店  
 従業員数 2,542名(2022年3月31日現在)  
 上場証券取引所 東京証券取引所プライム市場  
 札幌証券取引所  
 証券コード 8524

## 株式について

### 株主還元方針

総還元性向 **40%を目処** = 年間の配当金総額 + 自己株式の取得額  
 親会社株主に帰属する当期純利益

普通配当金 …… 1株当たり年間10円を予定  
 業績連動配当金… 親会社株主に帰属する当期純利益が150億円を超える場合、その超過額の30%を目処にお支払予定

## 株式事務のお取扱いについて

お手続の区分	証券会社等に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
株主名簿記載事項の変更 (氏名、住所、商号など) 単元未満株式の買取・買増請求 配当金受取方法の変更	お取引の証券会社等にお問い合わせください。	
未払配当金の支払等	みずほ信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-8507 東京都杉並区和泉2丁目8番4号 <b>フリーダイヤル 0120-288-324</b> 受付時間:平日9時~17時(土・日・祝日を除く)	

### 株式会社 北洋銀行 経営企画部

〒060-8661 札幌市中央区大通西3丁目7番地 電話 011-261-1311(代表)  
<https://www.hokuyobank.co.jp/>

今回より、SDGs推進の観点から紙資源の削減のため、誌面構成の見直しを行いました。

UD FONT

見やすいユニバーサルデザイン  
フォントを採用しています。

2022年6月発行

北洋銀行

2022.3

ミニディスクロージャー誌



North Pacific Bank  
MINI DISCLOSURE

## トップメッセージ



株式会社 北洋銀行  
取締役頭取 安田 光春

皆さまには、日頃より北洋銀行をお引き立ていただき、誠にありがとうございます。

2021年度の日本経済は、新型コロナウイルス変異株出現による社会活動の抑制および経済活動の停滞や、資材・資源価格高騰による世界的なインフレ懸念等、不透明かつ厳しい状況にありました。

このような環境のなか、中期経営計画『共創の深化』の2年目となった2021年度は、経営理念に掲げる「お客さま本位を徹底した、多様な課題の解決」に取り組み、法人コンサルティング子会社や証券子会社との連携など、グループ力を活かした事業を展開しました。

法人のお客さまには、長引くコロナ禍の影響などに伴うご融資に加え、「株式会社北海道共創パートナーズ」との連携により、アフターコロナを見据えた新分野展開、業態・業種転換などの事業再構築に向けたサポートに取り組みました。また、多くの事業者が抱える人材不足や後継者問題には、経営人材の紹介、M&A、事業承継ファンドによる出資など、お客さまのニーズや課題解決に向けた取組みを実施しております。

個人のお客さまには、多様化するニーズに応じたサービスの提供を展開しており、消費性ローン主力商品の申込・契約手続きを来店不要としたほか、事実婚・同性パートナー向けの住宅ローンの取扱いを開始しております。また、資産形成や資産運用については、「北洋証券株式会社」との連携を強化し、より高度なニーズに対応した取組みを進めております。

当行は今後も経営理念・行動規範の真の実践を通じて、お客さまの満足や価値の最大化を図り、北海道の持続可能な未来のために貢献してまいりますので、引き続きご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

## サステナビリティへの取組について

当行グループは、「サステナビリティ方針」のもと、「ESG取組方針」および「SDGsに係る重点取組テーマ」を掲げ、様々な活動に取り組んでいます。

### お客さまとの共通価値の創造



### SDGs宣言サポート

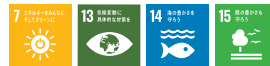
当行とお取引のある法人のお客さま向けに、SDGsに対する取組状況を診断し、その結果から独自の「SDGs宣言書」策定のお手伝いと、課題に対する今後の取組みに向けたサポートを行います。

### ほくようサステナブルローン

お客さまのSDGsや脱炭素への取組支援のため「ほくようサステナブルローン」として、グリーンローン(GL)とサステナビリティ・リンク・ローン(SLL)をお取扱しています。

GLは、資金使途が環境問題への取組みを目的とするプロジェクトに限定され、SLLは、お客さまが設定した野心的で持続可能な経営目標(SPTs)の達成状況に応じて金利等の融資条件が連動します。どちらも、外部機関から国際原則等への準拠性に対する評価(セカンドオピニオン)を取得し、実行後は毎年、検証機関からレポート内容の確認を受けます。また、SPTsを脱炭素関連を主体としたSLLフレームワーク型もお取扱しています。

### 環境保全



### TCFD提言への賛同

日本政府より「2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現」が宣言され、気候変動問題への対応は経済成長の制約ではなく、成長の機会ととらえる潮流が加速しています。2021年5月、当行は「気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)\*」提言への賛同を表明し、本提言で推奨される気候関連財務情報開示と脱炭素社会の実現に積極的に取り組んでいます。

※Task Force on Climate-related Financial Disclosuresの略。2015年12月に金融安定理事会(FSB)により設立された、気候変動リスク・機会の情報開示を推奨する国際的な支援組織。



### 投資で社会貢献! 北洋ecoチャレンジ!

投資を通じて社会的課題の解決(脱炭素社会の実現と北海道の環境保全)に貢献していただく機会の提供を目的に「投資で社会貢献! 北洋ecoチャレンジ!」を実施し、対象ファンド販売額の0.1%相当額を「ほくくー基金」に寄付しました。

### ほくくー基金

北海道の生物多様性保全を目的として2010年に設立し、道内の希少種保護や生息環境整備などに取り組む様々な団体を助成金により幅広く支援しています。基金設立以来、7,990万円(延べ145先)助成しました。



釧路自然保護協会  
(2022年度ほくくー基金助成先)

### 医療福祉



### 医療従事者を支援

新型コロナウイルス感染拡大防止の最前線でご尽力されている道内医療従事者を支援する「SDGs(医療応援)私募債」をお取扱しています。2021年度は「エールを北の医療へ!※」を通して590万円の寄付金を贈呈し、医療用資機材の整備等に活用されています。

※道内医療従事者に対する寄付金を募集する北海道の取組み。

### 教育文化



発行金額の一部をSDGs教育教材制作に充当する「SDGs(教育)私募債」をお取扱しています。2021年度は北海道大学監修のもと、楽しみながらSDGsについて学ぶことのできる小学生向け教材「SDGsをさがせ!」を制作し、SDGsの普及促進に取り組んでいます。また、2022年4月に、成年年齢が引き下げられるなど、金融教育に対する地域金融機関の役割も一層高まっていると捉え、「ほくよう金融教室」プロジェクトとして道内大学生向け講義の充実や高校教員を対象としたセミナーの開催などに取り組んでいます。

### ダイバーシティ



「子育てサポート企業(プラチナくるみん)」(2018年)や、女性活躍支援法に基づく「えるぼし」3段階目(2016年)の認定を受けているほか、2022年4月には当行が参加している「TSUBASA アライアンス」において「TSUBASA ダイバーシティ&インクルージョン宣言」を共同で制定しました。



### 事実婚・同性パートナー等の方にご利用いただける住宅ローンの取扱い開始

道内金融機関で初めて事実婚・同性パートナー等の方々に対する住宅ローンの取扱いを開始し、法律婚の配偶者と同様に連帯債務契約や担保提供者の対象とすることで、幅広いお客さまに住宅ローンをご利用いただけるようになりました。

サステナビリティへの取組についての詳細は  
当行「統合報告書2022」でご覧いただけます。  
(2022年7月公開予定)

